

令和4年度第1回カーボンニュートラル実現に向けた北海道の再エネ活用研究会
議事要旨

日 時：令和4年6月6日（月）10:00～12:00

場 所：北海道経済産業局第1会議室・オンライン

出席者：別紙の通り

議事概要

- ・ 事務局及び委員・オブザーバーから挨拶。
- ・ 株式会社デンソー北海道 根橋社長より、資料5に基づき説明。
- ・ 世永委員より、資料6に基づき説明。
- ・ 事務局より、資料7に基づき説明。

主な質疑応答

（株式会社デンソー北海道）

- ・ （地域との連携による課題、地域をまとめていく課題等）勉強会を開催するにも「何を勉強したらいいかわからない」というところから始まってしまう。自治体から、事例やセミナー等を紹介いただきながら勉強していくことを始めた。自治体とも更に議論を深めなければいけないと考えている。
- ・ （知識不足・人材不足・資金不足といった3つの課題解決に向けた取り組み）知識不足はセミナーの開催を通じて、自治体と連携しながら計画して勉強を始めていく。人材不足、資金不足の解決策は議論の段階。
- ・ （環境意識の高い海外企業との取引について）ヨーロッパ企業からは「〇〇年までにカーボンフリーの製品でないと取引しない」といった話が来ていると聞いている。そこまでに我々の目標を達成しなければならないという認識。
- ・ 「具体的にどう進めていくのか」ということに尽きると感じた。オール北海道で取り組みたいという意味で具体的な方向性、あるいは展開にこれからも期待。いかにこの研究会が関わっていくかということを改めて考えさせられた。
- ・ 2050年という目標に向かって動いているが、北海道はもっと加速していただきたい。「2050年カーボンニュートラル達成だと遅すぎるからもっと早くならないのか」という声がすごくある。この研究会を通じて、加速をしていただければと感じている。
- ・ 一社でできる話ではなく、まさに地域の問題。

（北海道電力株式会社総合研究所）

- ・ （北海道内におけるエネルギーの全体像）風力や太陽光を接続すると、調整電源が必要になるため、火力発電所をゼロにすることはできないと考えている。できるだけ再エネを導入し、残す火力発電所についても、アンモニアやメタネーションとCCUS等を活用してカーボンフリーにしていきたいと考えている。

- ・ 北海道における全体像がより具体的になっていくと良い。具体的な活動の位置づけもわかりやすくなる。
- ・ 国際的な圧力がある中で、北海道の再エネに関する需要と供給の戦略を作らないと、北海道に進出してくる企業のニーズに応えられないのではないかと。本州と北海道の温度差を感じている。
- ・ （水素の活用先・水素の活用ポテンシャルが大きい分野）火力発電所の発電機冷却用。将来的には、水素自動車への利活用が水素製造単価的には最も経済的。もう一つは産業分野において、電化できないところは水素や合成燃料の利活用。高温を必要としている熱需要は電化が難しいため、水素利活用のインフラにお金がかかることにはなるが、水素への変換を目指す必要がある。メタネーションやアンモニア、合成燃料に変換することも必要になるだろうと思っている。
- ・ 電化には限界があると考えており、化石燃料で何らかのエネルギーを得ているものは水素への転換などによることが、北海道のゼロカーボンの実現に向けた道筋と考えている。大半の家庭・事業所は化石燃料で暖房を取っているが、100%電化促進というわけにはいかず、水素や合成燃料で暖房を取れるようにする必要がある。そのためには、水素を利活用できるような水素利用インフラを整備していく必要がある。日本全体として気合を入れて取り組んでいかないといけない。あらゆる手段で、民生部門・運輸部門・産業部門の全てにおいて、化石燃料からの転換を図らなければならず、その一つが水素や合成燃料だと考えている。
- ・ バイオガスプラントの場合、電力市場を見ながら各自治体がプラント運転をするとなると非常にハードル感があると感じる。ノンファーム接続を今後やる上でも、電力事業ということではなく地域振興という意味で考えると、家畜頭数も増えていくと思うし、様々な農産物のバイオガスプラントの可能性も出てくると思う。電力事業の収支という視点も大切だが、地域振興の上では安定的にどのように動かすかという点は、非常に大切な視点。

以上

令和4年度第1回カーボンニュートラル実現に向けた北海道の再エネ活用研究会
委員名簿

(組織五十音順、敬称略)

(出席)

裕 一寿	興部町 町長
竹中 貢	上士幌町 町長 (オンライン参加)
中島 俊明	北海道経済部 部長
井澤 文俊	北海道ガス株式会社 取締役常務執行役員経営企画本部長
平本 健太	国立大学法人北海道大学大学院経済学研究院 教授 (オンライン参加)
世永 茂	北海道電力株式会社 執行役員総合研究所長
工藤 広	稚内市 市長

(臨時委員)

根橋 聖治	株式会社デンソー北海道 代表取締役社長
-------	---------------------

(オブザーバー)

川野 豊	農林水産省北海道農政事務所 次長
------	------------------

(欠席)

徳永 哲雄	弟子屈町 町長
-------	---------